

第60期
中間事業のご報告

2019年3月16日 ▶ 2019年9月15日

株式会社スーパーツール



代表取締役社長 荒野 隆夫

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに2019年3月16日から2019年9月15日までの第60期中間期の事業概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、機械投資に弱さがみられるものの、企業収益は底堅く推移し、雇用・所得環境の改善や個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済においては、米中通商問題や中国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題や長期化が懸念される日韓問題などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、金属製品事業につきましては、顧客の満足度を高めるため、マーケティングオートメーションを活用し、顧客への情報発信やオンリーワンを目指した製品開発の情報収集を行いました。また、生産活動においては、生産効率向上を目指した作業エリアの拡張や

レイアウトの改善、機械設備の導入を行い原価低減に努めました。

一方、環境関連事業につきましては、売電価格の更なる低下など厳しい事業環境ではありますが、大口の設備投資案件の受注を軸に、多様な顧客ニーズに応じて国内外を問わず最適なシステムの提案をし、受注活動に努めてまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は4,886百万円(前年同期比1,321百万円増、37.1%増)となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は356百万円(同58百万円増、19.6%増)となりました。

当中間期の業績を受けて、中間配当金は1株につき45円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

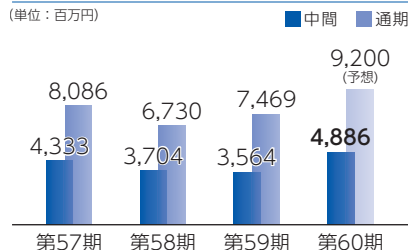
2019年11月

業績ハイライト

OPERATING HIGHLIGHTS

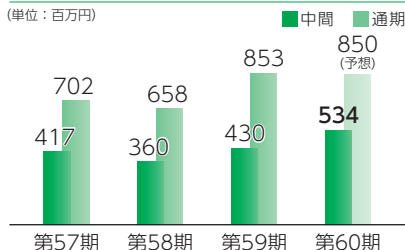
売上高

(単位：百万円)



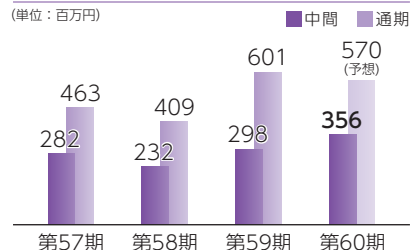
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位：百万円)





金属製品事業

国内販売では、機械投資に弱さがみられるなか、作業工具の分野では、顧客ニーズに適した商品提案と顧客に密着した営業活動を行った結果、プーラ類の販売が堅調に推移いたしました。産業機器の分野においては、効果的な販売企画により機能的且つ安全な吊クランプが堅調に推移いたしました。

海外市場では、日韓問題が深刻化するなか、韓国の子会社では、現地法人の強みを活かした営業施策を展開し、その他の地域においても、日本製品の優位性を訴求した細やかな営業活動と各種のプロモーション施策により、製品の拡販と新規取引先の獲得に努めました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,736百万円(前年同期比147百万円減、5.1%減)、セグメント利益は559百万円(前年同期比66百万円減、10.6%減)となりました。



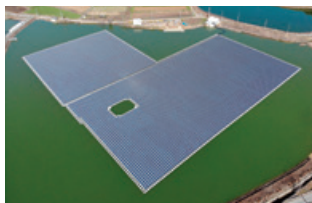
ギヤープーラ



環境関連事業

事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、より筋肉質な事業体制を構築すべく、従前より引き合いのあった大口の設備投資案件の受注、設置コストや運用面でメリットが多い水上設置型メガソーラーなどを軸とし、太陽光関連部材のラインナップ拡充を図るとともに、工場屋根などを有効活用した自家消費用への展開など幅広い取り組みを行ってまいりました。また売電部門では、大阪府河南町及び柏原市に設置しています3ヵ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,149百万円(前年同期比1,468百万円増、215.7%増)、セグメント利益は237百万円(前年同期比175百万円増、282.1%増)となりました。



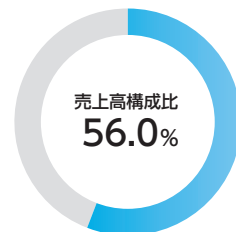
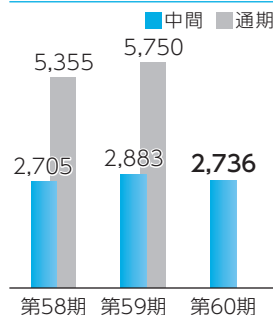
水上太陽光発電

主要製品

作業工具：レンチ、スパナ、プライヤ類・
配管工具類・プーラ類
産業機器：治工具類・吊クランプ類・
クレーン類・マグネット類

売上高

(単位：百万円)

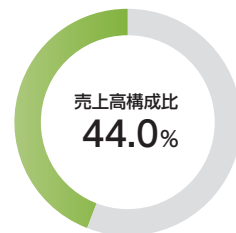
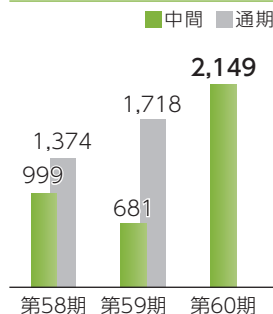


主要事業

太陽電池モジュール及び関連機器の販売
電気工事業、管工事業
太陽光発電システムの設計・施工、売電事業など

売上高

(単位：百万円)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2019年9月15日現在	前期末 2019年3月15日現在
資産の部		
POINT 01 流動資産	6,734	6,821
POINT 02 固定資産	5,839	5,970
有形固定資産	5,452	5,516
無形固定資産	7	8
投資その他の資産	379	445
資産合計	12,574	12,791

POINT 01 流動資産 86百万円減少

前渡金の減少589百万円、現金及び預金の減少535百万円、未収入金の増加586百万円、商品及び製品の増加469百万円等により、86百万円減少しました。

POINT 02 固定資産 130百万円減少

投資有価証券の減少61百万円、機械装置及び運搬具の減少48百万円等により、130百万円減少しました。

POINT 03 負債合計 422百万円減少

前受金の減少614百万円、短期借入金の減少250百万円、未払金の増加490百万円等により、422百万円減少しました。

(単位：百万円)

科目	当中間期末 2019年9月15日現在	前期末 2019年3月15日現在
負債の部		
流動負債	2,033	2,355
固定負債	1,589	1,689
POINT 03 負債合計	3,622	4,044
純資産の部		
株主資本	6,537	6,276
資本金	1,902	1,902
資本剰余金	839	840
利益剰余金	3,880	3,636
自己株式	△ 84	△ 102
その他の包括利益累計額	2,414	2,470
その他有価証券評価差額金	123	168
繰延ヘッジ損益	△ 25	△ 14
土地再評価差額金	2,317	2,317
為替換算調整勘定	△ 0	△ 0
純資産合計	8,951	8,747
負債純資産合計	12,574	12,791

※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を適用しています。

	第59期 (中間)	第59期 (期末)	第60期 (中間)
自己資本比率	71.0%	68.4%	71.2%
1株当たり中間(当期)純利益	143円76銭	291円81銭	174円39銭

※当社は、2018年9月16日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第59期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり中間(当期)純利益」を算定しております。

配当金推移

1株当たり配当金推移(円)

	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
年間	90	90	90	100	90(予想)
中間	45	45	45	45	45
期末	45	45	45	55	45(予想)

※当社は、2018年9月16日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第56期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を算定しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2019年3月16日から 2019年9月15日まで	2018年3月16日から 2018年9月15日まで
POINT 04 売上高	4,886	3,564
売上原価	3,588	2,386
売上総利益	1,297	1,178
販売費及び一般管理費	703	700
営業利益	594	478
営業外収益	6	9
営業外費用	66	56
POINT 05 経常利益	534	430
特別利益	0	—
特別損失	0	0
税金等調整前中間純利益	534	430
法人税、住民税及び事業税	195	155
法人税等調整額	△ 17	△ 23
法人税等合計	178	132
中間純利益	356	298
親会社株主に帰属する中間純利益	356	298

POINT 04 売上高

前中間期に比べ1,321百万円増加しました。セグメント別では金属製品事業は147百万円減少、環境関連事業では1,468百万円増加しました。

POINT 05 経常利益

新製品開発に伴う費用の増加などがありましたが、売上高の増加により経常利益は104百万円増加しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2019年3月16日から 2019年9月15日まで	2018年3月16日から 2018年9月15日まで
POINT 06 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 53	415
POINT 07 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 24	1
POINT 08 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 454	△ 271
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 2	2
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 535	148
現金及び現金同等物の 期首残高	2,454	2,611
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,919	2,759

POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益534百万円、前渡金の減少589百万円等により資金の増加がありましたが、前受金の減少614百万円等により、53百万円資金が減少しました。

POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出21百万円等により、24百万円資金が減少しました。

POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出250百万円、配当金の支払額112百万円、長期借入金の返済による支出92百万円等により、454百万円資金が減少しました。

TOPICS

省人・省力化に取り組んでいます。

昨今、あらゆる市場において電動化や自動運転化など技術の進展とともに省力化が進んでいます。当社においても、強みである多彩な製品群と高い信頼性を深化させ、ブランディングの確立と収益基盤の強化を進めています。

一方、社内の生産現場においても、省人・省力化設備の導入、作業エリア拡張・レイアウトの改善に取り組むなど、生産効率向上を目指した取り組みを行っています。これからも、省人、省力、安全、環境整備をコンセプトとして、産業社会に貢献していきます。



横形マシニングセンタ
(8面オートパレットチェンジャー付)

吊クランプの本体などの面切削、穴あけなど異種の切削加工を1台で自動で行うことができるコンピューター制御の工作機械。当社クレーンとの組み合わせによりさらに生産効率が向上。



NC旋盤
(バーフィーダー付)

ギヤプーラのアダプターなどの円筒形の部品を加工するための工作機械。数種類の刃物を取付け、コンピューター制御で自動加工ができる。自動材料送り装置(バーフィーダー)との組み合わせによりさらに生産効率が向上。

会社の概況

設 立	1960年12月10日
資 本 金	1,902百万円
本 社 ・ 工 場	大阪府堺市中区見野山158番地
支 店	大阪支店(大阪府堺市) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営 業 所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 新潟営業所(新潟市東区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流センター	東部物流センター(さいたま市見沼区)
子 会 社	株式会社スーパーツールECO(本社:大阪府堺市) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

役 員

代表取締役社長	平野 量夫
取 締 役	田 中 穰
取 締 役	篠原 宏尚
取 締 役	熊谷 宏
社 外 取 締 役	赫 高規
取 締 役 員	河村 信広
社 外 取 締 役 員	田 中 豪
社 外 取 締 役 員	深堀 知子

株式の状況

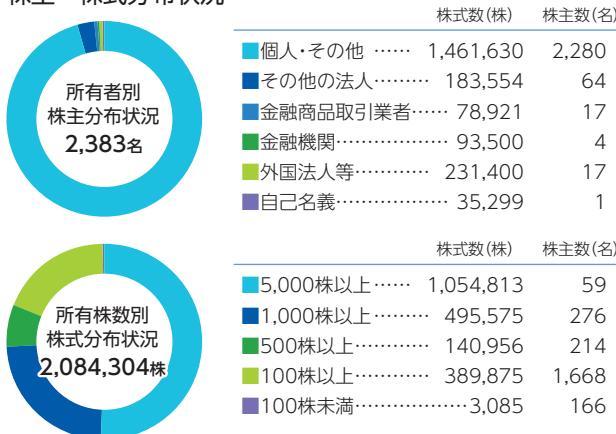
発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,084,304株 (自己株式数35,299株を含む)
1単元の株式の数	100株
株 主 数	2,383名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
BANK JULIUS BAER SINGAPORE FAO MITSUTOKI SHIGETA AC NO. 2	88	4.29
濱中ナット株式会社	65	3.20
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD-SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	55	2.70
SMBC日興証券株式会社	53	2.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	45	2.22
竈 利英	45	2.21
竈 圭人	35	1.73
吉川 明	35	1.73
株式会社池田泉州銀行	34	1.65
西村 香奈枝	27	1.34

※ 持株比率は自己株式(35,299株)を控除して算出しております。

株主・株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.supertool.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）
単元株式数	100株

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地
TEL (072) 236-5521(代表)

ホームページのご案内

<https://www.supertool.co.jp>

スーパーツール

検索

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。



IR情報



製品情報



カテゴリーや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。